

奥出雲町老人クラブ連合会

令和7(2025)年9月

ひのかみ 第20号



▲横田幼児園園児との交流会

目次（表紙：横田悠遊クラブ）

老人クラブの設立と今後の取り組み課題（町老連会長）…	2
奥出雲町老人クラブ 歴代会長祝辞 ……	3
奥出雲町老人クラブ 20年間の歩み ……	4. 5
老人クラブについて ……	6
退薫晋山式を終えて（布勢） ……	7
老人クラブに加入して想うこと（三成） ……	8
高齢者の自動車運転免許証更新について（亀嵩） ……	9

阿井地区の活動を振り返って（阿井） ……	10
みざわキッズパワーは元気のみなもと！（三沢） ……	11
これからの鳥上むらくも会について（鳥上） ……	12
令和6年度横田悠遊クラブの活動について（横田） ……	13
八川寿会に加入して15年（八川） ……	14
馬木健康クラブの活動（馬木） ……	15
お知らせ ……	16

老人クラブの設立と今後の取り組み課題

奥出雲町老人クラブ連合会会長 飛田 忠



昭和 37 年 7 月『老人福祉法』が国会で制定され、全国老人クラブ連合会が結成されました。老人は、多年にわたり社会の進展に寄与し、かつ豊富な知識と経験を有するものとして敬愛されると共に、生きがいのもてる健全で安らかな生活を保障されるものとするがあります。

平成 18 年 6 月に【奥出雲町老人クラブ連合会】が発足し、町内 9 地区が活動開始してから平成 7 年度で結成20年目を迎えることになりました。表1に示す通り、合併当時人口16,111人、老連会員数2,025人、単位クラブ数47でスタートし、20年後の令和7年度人口は10,928人、会員数1,143人、単位クラブ数30となり、人口減少と相まって老連の会員数も減少傾向となりつつあります。今後も超高齢化、少子化が進む中にある元気に高齢者は今まで以上に地域で主催する各種スポーツ・児童育成・文化伝承・仲間づくりに元気に参加し実践をすることが地域の活性化や自身の健康づくりに繋がるのではないかと考えます。

また、過日松江市で『中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会』が開催され、全国老人クラブ連合会常務理事松島紀由氏の『高齢者を取り巻く状況』と題した基調講演を受けました。

講演では、令和6年度閣議決定のあった内容について、国の高齢者取り組みの方向が3点示されました。

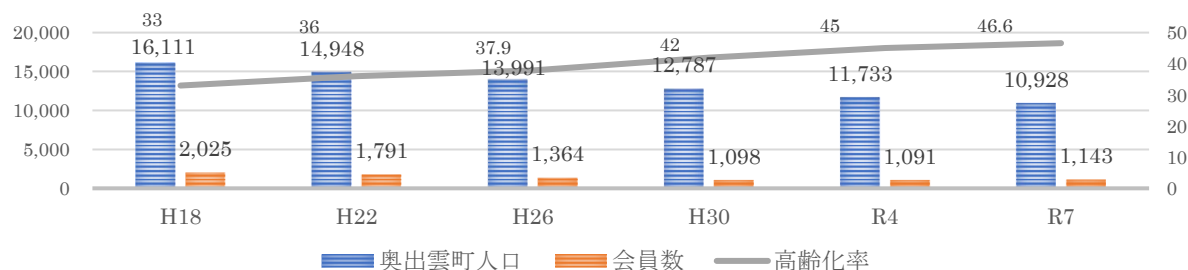
- (1) 高齢者社会大綱として年齢によって隔てられることなく、若年世代から高齢世代までの全ての人がそれぞれの状況に応じて『支える側』にも『支えられる側』にもなれる社会を目指していく。
- (2) 高齢者の孤独・孤立対策として家族・地域・職場などにおける人間関係の希薄化が指摘される中、地域におけるつながりの強化を目指す。
- (3) 認知症対策として誰もが認知症になり得ることを前提に国民一人一人が自分事として理解し、認知症の人の視点に立って住み慣れた地域仲間と共に希望をもって自分らしく暮らすことを目指す。

今後の高齢化社会の指針としては必要不可欠の課題だとして取り組みを強化するとの講演でした。その他提案では会員の退会によってクラブ数が減少すること、役職の成りてががないこと、若手の担い手がいないことによって会長を長期間にわたって続けていく人が多いとの報告も印象に残りました。

終わりに、奥出雲町老人クラブは国や県の方針に則り、会員の増員・イベントへの積極的な参加を通じて地域の皆様に認知される団体として末永い活動となることを願っています。

表 1

奥出雲町老人クラブ連合会の会員数推移



	H18	H22	H26	H30	R4	R7
奥出雲町人口 (人)	16,111	14,948	13,991	12,787	11,733	10,928
会員数 (人)	2,025	1,791	1,364	1,098	1,091	1,143
高齢化率 (%)	33	36	37.9	42	45	46.6
単位クラブ数	47	39	32	27	29	30

奥出雲町老人クラブ連合会 ～歴代会長 祝辞～

奥出雲町老連の更なる発展を

合併20周年並びに広報「ひのかみ」20号記念おめでとうございます。会員のご協力、役員・事務局のご尽力あつての賜物と深く感謝申し上げます。

奥出雲町老連への加入は地区全体によるものあるいはクラブ単位によって加入されているものなど違いがあり、今まで加入しないでいる人も多くあるように思われます。単位クラブ会員外の人でも希望すれば入会できるように門戸を広げていけないものかと思ひます。

町老連の「ふれあい運動会」「ペタンク大会」「グラウンド・ゴルフ大会」など多くの会員が参加し盛大に行われているのは喜ばしいことです。小集団の活動も順調に広がっているようですが、地域集落の人が定期的に集まって楽しめるような集いがもっと広がり、継続され地域が活性化していくことが重要だと思ひます。

また、社会奉仕をしていくことも大切なことと思ひます。私たちにできる環境の整備や美化、農山村の文化の発展、教育や育児への協力等々、広い分野に目を向け、何ができるかを考え実行することが大事だと思ひます。身近なところに老人パワーが生かされてできることがあると思ひます。

奥出雲町老連は、町社会福祉協議会に事務局を担当していただいておりますが、市町村によってはそうでないところもあります。町老連の活動は事務局によって支えられています。当町の安定した事務局は大変ありがたいことです。事務局のご苦労は大変ですが、これまでものお力添えに心から感謝申し上げ、今後とも町老連発展のためにご尽力くださいますようによろしくお願ひいたします。町老連の発展を心からお祈りします。



高橋 正美さん

前々奥出雲町老人クラブ会長
平成28年6月1日～平成30年6月1日



ふれあい運動会の様子
(平成28年)

老人クラブ合併20周年記念にあたって

合併20周年記念おめでとうございます。

私は、阿井地区老人クラブ会長稲田一郎氏の後任となり、町老人クラブ連合会に出かけ、高橋正美会長の後任として4年間務めさせていただきました。

心がけたことは、

- ① ボランティアの推進・・・阿井地区の公民館、コミセン、ふれあい交流館（一味同心塾）の草刈り、剪定を会員有志で実施（慰労会が楽しみだった）
- ② 阿井地区講演会・・・阿井にゆかりのある講師の講演会（今も続いている）
- ③ 老人クラブの加入促進・・・休止クラブの復活及び新規クラブの加入

町老連の活動の中で特に印象に残っていることは、運動会とグラウンド・ゴルフなどの軽スポーツがあげられます。そのなかで社協の皆さんには、準備から大会の運営、片付けなど親身になって取り組んでいただき、楽しい時間を作っていただいたことは忘れられません。ありがとうございました。

高齢化社会のなかで高齢者が生き生き活動できる場として、老人クラブがますます発展することを祈念しております。



鈴木 紘一さん

前奥出雲町老人クラブ会長
平成30年6月1日～令和4年5月31日



阿井地区講演会の様子



ボランティア活動の様子

奥出雲町老人クラブ歴代会長	
佐佐木 昭典	(平成18年6月～20年6月)
藤原 邦雄	(平成20年6月～28年6月)
高橋 正美	(平成28年6月～30年6月)
鈴木 紘一	(平成30年6月～令和4年6月)
飛田 忠	(令和4年6月～ 現在)

奥出雲町老人

平成 25 年 ペタンク大会



平成 27 年
『奥出雲町老人クラブ連合会』が発
足して 10 周年

平成 18 年
町村合併に伴い『奥出雲町老
人クラブ連合会』が発足

平成24 年
若手女性委員合同委員会初開催



2006

2011

20



↑上三所グループ(布勢)
のウォーキングの様子

↓横田地区のウォー
キングの様子



平成 21 年～24 年
げんきプラン 21 を策定
布勢・横田で健康ウォーキングを実施



↑原田老人クラブ
(三沢) サロンの
様子

平成27年
集いの場助成金制度設立



↑八川寿会
サロンの様子



↑福和会(鳥上)
サロンの様子

クラブ連合会

～20年間の歩み～

平成 28 年 グラウンド・ゴルフ大会



令和元年 総会



令和 7 年

『奥出雲町老人クラブ連合会』が
足して 20 周年

令和 5 年

3年ぶりにふれあい運動会開催。
優勝は同年復活した三成地区

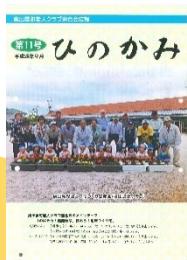


令和元年

新型コロナウイルス感染症が流行。

収束の目途は立たず、活動が自粛気味になる

➡地区毎に健康づくりの助成金制度事業開始



16

2020

2025



平成 28 年 ゲートボール大会



平成 28 年
ふれあい運動会



令和元年 グラウンド・ゴルフ大会



令和 5 年

8年ぶりに三成地区『三成いきいきクラブ』として再始動。



老人クラブに入会すると身体年齢が 10 歳若返る!?

老人クラブってなに?

「老人クラブ」とは、地域を基盤とする高齢者の自主組織です。

21 世紀、高齢社会に入り、「老人クラブ」は地域の高齢者の生きがいにつながる全国三大運動の「健康・友愛・奉仕」活動を取り組んでいます。

●活動の目的

仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を活かして地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的としています。

●会員

おおむね 60 歳以上の方ならどなたでも加入可能です

●組織

日常的に声を掛け合い、歩いて集まることができる小地域の範囲で組織しています。

老人クラブ加入のメリット

これからますます高齢化が進んでいきます。身近な地域の中で高齢者同士がつながりあって、互いに支え合うことが今後ますます必要になります。老人クラブに加入して仲間を増やしませんか?

老人クラブでは、多様な活動内容の中には旅行や趣味活動、スポーツなど楽しい活動もたくさんしています!

一緒に笑顔あふれる毎日を過ごしましょう!

老人クラブの活動紹介



環境整備ボランティア活動

町内の公共施設等を自主的に環境整備する活動を各地区老人会において積極的に行っています。



一鳥上地区

阿井地区

※町老連事業以外に各地区老人会で健康スポーツ、研修会、地域ボランティア、世代間交流、サロンなど様々な活動を展開しています。

令和 7 年度奥出雲町老人クラブ連合会会員数

地区	単位クラブ名	会長名	人数	地区合計
布勢	佐白寿会	内田正男	37	109
	馬馳寿笑会	内田和夫	44	
	上三所長寿会	石原弘	28	
三成	三成いきいきクラブ	山本勝昭	122	122
亀嵩	亀嵩西部寿会(和の里)	目黒誠津子	29	128
	久比須・中瀬野満の里クラブ	土屋武雄	21	
	上西高齢者クラブ(さわやかクラブ)	米原友雄	54	
	町谷奥いきいきクラブ	佐野健一郎	20	
	梅木原老人会	藤原一登	4	
阿井	内容寿会	渡部敬	17	189
	福原寿会	遠藤秀夫	23	
	笑和クラブ	川角俊夫	18	
	阿井中央寿会	影山豊幸	15	
	本郷健生会	長谷川庸雄	39	
	鎗物屋寿敬会	大坪一雄	17	
	玉令会	若林朝富	12	
	平和寿会	恩田正則	7	
	小寄実年会	松原潔	41	
三沢	三沢寿会	白名里巳	67	219
	三沢福寿会	景山博	72	
	三沢松寿会	田部英年	80	
鳥上	鳥上むらくも会	松崎敏江	79	79
横田	横田地区会長	杠洋二		132
	大曲寿会	藤原定行	28	
	六日市白寿会	岩佐重信	31	
	馬場福寿会	峯石光則	24	
	五反田ベタンク会	佐藤文夫	11	
	原口悠々クラブ	古崎清久	9	
	(横田悠々クラブ直属)		29	
八川	八川寿会	山内博文	73	73
馬木	馬木健康クラブ	飛田忠	92	92
※会長は太字			合計	1143

会員の中には、老人クラブ活動へ参加したことで身体年齢が 10 歳以上若返った方もおられます!

入会を迷われている

そこのあなた!

入会して損することはありません!!

入会をお待ちしております。

申込み・お問い合わせは左図の各地区会長または社協(54-0800)までご連絡ください。



布勢地区老人クラブ 会長 内田 正男

たいとうしんざんしき

昨年の10月、佐白の玉雲寺において退董晋山式が挙行されました。

25世ご住職が引退され、新たに大阪出身の新ご住職曾根慎吾和尚が就任されました。

数年前から待ち望んでいた継承事業に檀家の喜びもひとしおです。



↑ 晋山式の様子

この頃は、少子高齢化を理由にして、昔からの大切な行事も簡素化、省略されて、地域の



↑ 参列者の集合写真

連携や絆の形成がおろそかにされていると強く感じています。お寺のいろいろな行事しかり、お宮のお祭りなどもしかり。

人生も後期に入った私たちですが、これまで懸命に

働き、気が付けばすでにこの年齢になっていました。

その間、親たちが教えてくれたお祭り、法要などはそれなりに対処してまいりましたが、隣近所力を合わせて諸行事を遂行するような、昔の絆を薄めてしまったのは、私たちの世代のせいでしょうか。

玉雲寺ではご住職の後継ができました。伊賀武神社も若い宮司様で、お寺の緒行事やお宮のお祭りなどもできる体制は取れています。



↑ 佐白寿会が伊賀武神社を清掃しました

これまで人生の先輩方から教わり、引き継いできた諸行事を、これからもできる限り守り、次の世代につなげていきたいものです。

三成いきいきクラブ 植田孝志

定年退職して 3 年余り。私の趣味は、弓道と山登りです。弓道では高齢者の祭典ねりんピック富山県大会に出場しました。山登りは近県の花々は、ほとんど登りました。日本一の富士山には 5 回も行きました。登山中は、辛くてもうこれで最後にしようと思いますが、下山すると次回の計画をしているのが自分でも不思議です。(若いつもり)

てな具合で「老人会・・・まだまだ先の話し」と思っていたのですが、再三誘っていただき入会させていただきました。

老人会に入ってみるといろいろな会議、行事、スポーツ大会に参加させていただきそれなりに楽しんでいる自分がいます。



老人クラブに入り、初めてのペタンク大会!!



↑上三成上のおしゃべり会の様子

私の自治会では昨年「集いの場」としておしゃべり会を開いていますが、今年度はまだ開催できていません。

他自治会、他地区の行事等を参考にさせてい

ただき楽しい会を開催できるように動き回る若手委員を目指し、ますます健康で笑顔溢れる地域になれるよう頑張っていきます。今後ともよろしく願いいたします。



↑ 昨年度は運動会スタッフとしても参加。
三成地区は見事優勝!!

満82歳の誕生日が近づくと同時に自動車運転免許証の有効期限が近づいているので、一考することにした。

最近の交通事故のニュースに高齢者の男性が高速道路を逆走したとして物議を醸した。^{かも}高齢者の交通事故が増えるなか、島根県内の高速道路は立体交差が少なく、逆走を引き起こしやすい平面交差である。大いに危険性を孕んでいる。例えば、「まだらぼけ」と言われる「認知症」の人が運転免許の試験に合格したとしても、果たして正常か疑わしい。自動車の運転継続は、まさに至難の業と思えてならない。

地域の公共交通の「バス」は三成行きだけ、存続が危うい「木次線」は最寄りの駅まで4キロ離れているため、利用し難い。

また、地域を支えていた商店街は消滅し、生活のためのインフラは他の地域ばかりとなってしまった。この状況下で自動車での移動が必須となり、自動車運転免許証の返納は延期せざるを得ない。

自動車を運転をする際は、常に「用心」を心がけ、スピードは控えめに、ルールやマナーは厳しく守り、ゆとりのある運転を誓って次の3年間を継続すると決心しました。



阿井地区老人クラブ事務局

今年は町制施行 20 周年です。従ってクラブ連合会も結成 20 年目になります。今回は阿井地区老人クラブの活動を振り返ってみます。

阿井地区老人クラブは単位 9 クラブで構成され、相互に連携しながら活動を進めています。会員数は200名を切って189名、現役世代が長くなったこともあって会員の減少は避けられません。

こんな中で、本会が最も力を入れてきたのが「阿井地区講演会」です。地元にはゆかりのある方を講師に、歴史・産業・健康・医療・教育等々多岐にわたる話題に耳を傾けます。同時にはつらつクラブの交通安全研修も兼ねて毎回100名近くの会員が集います。

次に、世代間交流に力を入れています。幼稚園の皆さんとのケロちゃん田んぼ活動では、泥んこ遊びをはじめ一連の米作りを共同で作業しています。小学校のふるさと学習やクラブ活動支援も好評です。また、有志によるしめ縄づくりも子どもたちが楽しみにしている活動です。

また、単位クラブが大切にしているが地域の環境整備です。それぞれのクラブが地域に根差した内容に取り組んでいますが、例えば小寄実年会では新たに芝桜の里づくり(写真①・②)、寿敬会では毎年2回国道ロータリーの花壇整備などに取り組んでいます。(写真③)活動原資はふるさとづくり事業補助金を充てています。(写真①・②)

健康づくり活動も重要です。各団体が主催するグラウンド・ゴルフ、ペタンク、軽スポーツ交流大会などに積極的に参加するよう周知活動や会員の参加者募集なども行っています。もちろん町老連の各種行事や社協事業への参加にも力を入れています。たくさんの会員が参加するようになっており喜んでいるところです。今年の老連ペタンク大会では阿井のチームが優勝と準優勝を分け合いました。高齢者は活動するから元気だと思います。活動しようとする意欲によって①社会的つながりの維持・促進②健康維持・増進③役割づくりと生きがいづくり④生涯学習としての学び直しや趣味活動の促進⑤世代間交流の促進等々を図ることができると考えています。

今後も会員一丸となって、阿井地区の地域づくりへの貢献と互いの健康長寿のために、積極的な活動を展開したいと考えています。



↑小寄実年会 芝桜の里づくりの様子



↑寿敬会 花壇整備の様子(写真③)

三沢地区老人クラブでは、幼児園児、小学校児童との交流会を行っています。今回はその様子を紹介します。

子供たちとのふれあいはとても楽しく、若返る気がします。

6月27日(日) 幼児園児さんと一緒に笹巻をつくりました。おじいちゃんおばあちゃんに教わりながら、みんな一生懸命頑張りました。



いちに、いちに、
おいしくなあれ、おいしくなあれ



お団子に竹串さして
笹をかぶせて・・・
“ぼく、疲れちゃった”



みんなで作った笹巻
おいしいね

7月15日(火) 三沢小学校児童のみなさんとそばの種をまきました。秋には実ったそばを刈り、年末にはそば打ち交流会も予定しています。

“おじいちゃん、
上手!!”

慣れない手つきで鍬を使いました。
みんなの気持ちのこもったおいしい
おそばができることでしょう。



“そうそう、丁寧に”



鳥上むらくも会 会長 松崎敏江

今年の夏季は梅雨が早々に明けたと思ったらこの猛暑。

危険な暑さが続き、人も田畑も「ぐったり」です。

7月に県老連主催の「中四国ブロック老人クラブリーダー研修会」が松江市で開催され、飛田会長含む5名で参加しました。発表を聞いていますと、奥出雲町に限らず何処の地方も会員減少に苦慮の様子でした。高齢化率は40%前後となり、高齢者の80%が健康に暮らしている人ですが、老人クラブへの加入率は6%と低いとのことでした。奥出雲町も例外ではないと思います。

そんな中、むらくも会ではUターンされた若い会員さんが1~2名おられます。その人たちの声で“カラオケクラブや麻雀クラブがあれば加入していない友達も入ってくれるかもしれない”と言う声もあり、早速話を進めています。

カラオケは声を出すので認知機能の活性化や口腔機能の維持・向上、誤嚥性肺炎の予防にもなり、麻雀は頭を使うので認知機能の活性化や手先の器用さの維持に繋がると聞きます。

この度、カラオケクラブを発足することになりました。場所は旧鳥上小学校の教室に絶好の部屋があるので、1日でも早く活動ができるように現在話を進めているところです。

さて、カラオケクラブ発足で2~3名でも会員が増えるのでしょうか？

不安のなかにも楽しみです。

鳥上むらくも会の活動紹介

7月2日(水)に横田幼稚園で笹巻交流会を開催しました。

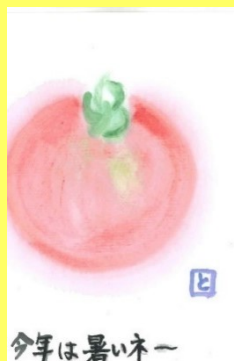


7月8日(火)に日帰り旅行へ行きました。
久しぶりに木次線にも乗車。



↑しまね花の郷での様子

鳥上むらくも会 絵手紙教室の作品



横田悠々クラブ 事務局

令和6年度横田悠遊クラブの活動を紹介します。

年度最初の行事はペタンク大会。五月晴れの5月26日(日)横田運動公園を会場に開催され、8チームの参加がありました。1球1球投げるごとに歓声が上がリ、熱戦が繰り広げられました。

横田幼児園との世代間交流につきましては、横田・鳥上幼児園が統合になってから鳥上むらくも会の皆様と共に活動を行っています。5月28日(火)は野菜苗の植付作業をしました。あらかじめ、悠遊クラブの会員により整地・施肥・畝を用意した園内の畑で園児たちは会員の手を借り、夏物野菜苗を植えました。6月27日(木)は笹巻き交流会を行いました。小さな手で大きな笹を悪戦苦闘の末たくさんの笹巻が出来ました。園児にとって慣れない笹巻きづくりでしたが、園児の皆さんと一緒に季節の味を楽しみながら楽しく会食をしました。

10月17日(木)、松江市八雲町へ日帰り旅行に出かけました。今回は17名の参加があり、熊野大社周辺を散策のあと、八雲温泉「ゆうあい熊野館」にて親睦を深めました。

11月10日(日)、『町民健康講座』を開催しました。この講座は高齢者をはじめとする地域住民が健康で文化的な生活を送れるよう毎年開催しています。昨年度は、第1部では岩崎巖先生(出雲市)の「ハーモニカ演奏」と地元女性サキソフォン奏者によるコラボ演奏。圧巻の演奏に思わず釘付けでした。第2部は落合孝行氏(三沢地区出身)指導による「元気が出る健康体操」で健康への関心を高めました。この日は心と体の健康増進にふさわしい内容の講座となり、参加者からはとても好評でした。

11月6日(水)、町老連主催の第17回ふれあい運動会が開催されました。三成地区の2連覇を阻止すべく挑んだ運動会でした。惜しくも第2位でしたが、横田地区一丸となって取り組むことができたことです。今年も頑張ります!!

他にも年間を通して、「あいさつ運動」や交通安全運動期間中の街頭指導にも参加しています。また、他団体(社協、体協等)主催のペタンク大会やグラウンド・ゴルフ大会にも積極的に参加して健康増進に努めています。

横田悠遊クラブの会員は現在132名となり、会員の高齢化と減少に悩まされています。横田悠遊クラブは様々な活動を行っています。新規入会お待ちしております。



↑ 野菜苗の植付作業の様子



↑ 笹巻づくりの様子



↑ ペタンク大会での集合写真



↑ 日帰り旅行での集合写真



↑ ふれあい運動会の競技の様子

「寿会に入ってごさんかね」と誘われて、「いいですよ」と二つ返事をした。魂胆は飲めることだ。大谷の寿会さんは何かあると公会堂で親交を深められていた。公会堂の前を通る度に呼び止めてもらったも



↑ 八川地区忘年会(平成24年12月13日)

のだ。「大谷の寿会に加入したが八川には加入していない」などと駄々をこねていたがある日のこと、例によって飲み会に誘われ、会報「ひのかみ」の編集委員を承諾することになった。



↑ 笹巻交流会の様子

以来、原稿依頼などのために平成25年から八川の寿会行事に参加す

ることとなった。平成25年の敬老の日の祝賀会行事では、八川小学校の1,2

年生から「これからも元気で長生きしてください」とのメッセージ、平成20年ごろからの「チュウリップの球根植えや昔の遊び」、平成23年から続いた「笹巻交流会」を通して沢山の元気をもらった。

そんな八川寿会であったが、令和2年からの『コロナ禍』により平成20年には175人を擁した会員も令和6年には71名と激減、対外交流はなくなり、会員同士の交流も希薄となった。

大谷地区でも「そばまつり」「花づくり」を中核に活動していたが、今は「花づくり」を核としている。今年は「花立花壇」への植栽した残りの花苗500本余りを会員に配布し、自宅の庭に植える活動をした。会員の連帯感高揚と自分の花の管理によってフレイル予防を願いながら。



↑ 花立花壇作業の様子(令和7年6月27日)



↑ 県老連活動大賞受賞の原動力
“わら芸部”(令和4年)



↑ 大谷寿会 そばまつり(平成27年)

馬木健康クラブ 加納治江

やはすやま

馬木は秀峰吾妻山をはじめ馬來氏が居城を構えた矢筈山また頂上付近に大きな石碑をどうやって岩穴の中に設置したのか摩訶不思議な仏山の三山に囲まれています。その中で馬木健康クラブは長い歴史を重ね、会員相互の親睦を図ること、また福祉の増進を目的と



↑ 民話クラブの活動の様子



↑ 宮掃除部（八満宮）の活動の様子

今年度は全体活動として敬老会や研修旅行、地区研修に分団サロンが予定されています。地区研修では音楽療法士の武田千代美先生の歌と楽器で安らぎのひとときを過ごすことが出来ました。

分団サロンも歩いて行ける場所として人気があります。今後の課題として会員増に合わせ活動が賑やかに集える場所でありたいものです。

して活動をすすめています。活動の中には 8 つのグループがあり興味があればどのグループに加入してもいいので、78%の方が何かのグループに所属しており組織を盛り上げています。



↑ 地区研修会の様子
音楽療法士の武田千代美先生

県老連『活動賞』を受賞しました！！

今年度阿井地区内谷寿会が県老連『活動賞』に選ばれました。この賞は、県内の老人クラブ活動の優良事例に対して島根県老人クラブ連合会から贈られます。

内谷寿会（阿井）

内谷寿会では、10年以上前から会員相互の情報交換の場、楽しい会食の場、見守り活動の場として自治会と連携し、サロン活動を毎月行っています。

茶話会の様子→
何気ない会話が一番
楽しい♪



←軽スポーツをしている様子
みんなでポッチャ♪

作品の紹介

きょうらばく俳句会（鳥上地区）

おきなごの 輪の中ひとり 夏祭り

豪邸の 裏門シエン 夏椿

夕立去り 夕日仄かに 雲照す

隠居なれど お呼びのかかる 夏祭

嵐谷 真

内田 三子

矢部 英子

重親 重行

七月の句会より



毎月楽しく！詠んでいます！！

編集後記

今年は奥出雲町老連が発足 20 周年となり、本誌についても発行から 20 号を迎えました。

20 年前に比べると会員減少・高齢化は進み、活動の継続が課題となっています。これは奥出雲町老連に限らず全国的にも問題視されています。今年の代議員総会では各地区で行っている活動紹介をしていただき、どの地区も様々な活動を展開しておられ、会員の皆さんの地域に対しての愛を感じました。

本誌を通し、老人クラブはどんな活動をして、何を目指しているかを少しでもご理解いただき、会員加入の一助となれば幸いです。

事務局	委員	副委員長	委員長	『ひのかみ』編集委員
加村 一樹	加納 治江	板垣 憲三	岩佐 重信	系原 健二
				福田 充雄
				若槻 光彦
				山根 富則
				畑 美紗子
				川西 一夫
				飛田 忠

一球入魂！今年もペタンクでいい汗かきました！

6月6日（金）すばーく仁多において、第20回奥出雲町老人クラブ連合会ペタンク大会を開催しました。今回初めて参加された会員や、この日のために練習をされた方など、85名（26チーム）の参加者が集まりました。

結果は以下の通りです。

寿敬クラブの皆さん

順位	チーム名(地区)
優勝	寿敬クラブ(阿井)
準優勝	あい本郷A(阿井)
3位	三成A(三成)
4位	佐白寿会A(布勢)



奥出雲町老人クラブ連合会

島根県仁多郡奥出雲町三成260-1（社協仁多事務所）

電話：0854-54-0800 情報：31-0800

ホームページ：<https://okuizumo-syakyo.com/rojinclub>

※右のQRコードを読み取って最新情報をcheck

